

【参考文献】

- 1) 土木学会：海岸施設設計便覧，土木学会，pp.301～305，2000.
- 2) 沿岸開発技術研究センター：沿岸波浪・海象観測データの解析・活用に関する解説書，181p，2000.
- 3) 高山知司監修，海象観測データの解析・活用に関する研究会編：波を観る－波浪、津波、高潮、GPS 海洋ブイ、沿岸波浪計－，一般財団法人沿岸技術研究センター，318p，2013.
- 4) Borgman, L. E.: Risk criteria, J. Wat. & Harb. Div., Proc. ASCE., Vol. 89, No. WW3, pp.1-35, 1963.
- 5) 平山克也，加島寛章，佐井 稔，成毛辰徳：うねりによる高波の発生確率とその地域特性に関する考察，土木学会論文集B2(海岸工学) Vol.71 No.2, 土木学会，pp.I_85～I_90, 2015.
- 6) 松藤絵里子，高山知司，宮田正史，平山克也，河合弘泰，鈴木善光，宇都宮好博，福永勇介：うねり性波浪を考慮した設計波の設定法について，土木学会論文集B2(海岸工学) Vol.73 No.2, pp.I_1153～I_1158, 2017.
- 7) 平山克也，南靖彦，奥野光洋，峯村浩治，河合弘泰，平石哲也：2004年に来襲した台風による波浪災害事例，港湾空港技術研究所資料 No.1101, 42p, 2005.
- 8) 高田悦子，諸星一信，平石哲也，永井紀彦，竹村慎治：我が国沿岸の波浪外力分布，国土技術政策総合研究所報告，No.88, 2003.
- 9) Goda, Y.: Revisiting Wilson's formula for simplified wind-wave prediction, J. Waterway, Port, Coastal and Ocean Eng., ASCE, Vol. 129, No.2, pp.93-95, 2003.
- 10) 広瀬宗一，高橋智晴：沿岸波浪の出現特性(その2)，第30回海岸工学講演会論文集，pp.168～172, 1983.
- 11) Gringorten, I.I.: A plotting rule for extreme probability paper, J.Geophysical Res., Vol.68, No.3, pp.813～814, 1963.
- 12) Petruaskas, C. and P.M.Aagaard: Extrapolation of historical storm data for estimating design wave heights, Preprints 2nd OTC, No.1190. 1970.
- 13) 合田良実：極値統計におけるプロットング公式ならびに推定値の信頼区間に関する数値的検討，港湾技術研究所報告 第27巻 第1号，pp.31～92, 1988.
- 14) 合田良実：耐波工学(港湾・海岸構造物の耐波設計)，鹿島出版会，第13章 pp.327～379, 2008.
- 15) 合田良実，小長谷修，永井紀彦：極値波浪統計の母分布関数に関する実証的研究，海岸工学論文集 第45巻，土木学会，pp.211～215, 1998.
- 15-1) 文部科学省及び気象庁：日本の気候変動2020，大気と陸・海洋に関する観測・予測評価報告書(詳細版)，263p, 2020.
- 15-2) 本多和彦・成田裕也・岡本侃大・百海郁弥・平山克也・高川智博・森 信人：3大湾内の港湾における高潮・波浪への気候変動の影響評価，国土技術政策総合研究所資料，No.1266, 132p, 2024.
- 15-3) 野村明弘・佐藤典之・石川浩希・早川哲也・岩崎慎介・大塚淳一・森信人・渡部靖憲：d4PDFを用いた設計波高の将来変化の効率的な推定手法，土木学会論文集B2(海岸工学)，Vol.78, No.2, pp.I_937-I_942, 2022.
- 15-4) 本多和彦・成田裕也・平山克也・高川智博・森信人：日本沿岸の主要港湾における高潮・波浪への気候変動の影響評価，国土技術政策総合研究所資料，(2024.08 予定).
- 15-5) 小林怜夏，竹信正寛，本多和彦，蒔苗嘉人，村田誠，気候変動適応策を踏まえた防波堤の設計手法に関する検討，国土技術政策総合研究所資料，No.1281, 2024(予定).
- 15-6) 岡本侃大・本多和彦・百海郁弥：ブートストラップ法を用いた高潮・高波の偶然的な不確実性の評価，国土技術政策総合研究所研究報告，No.71, 19p, 2023.
- 15-7) 岡本侃大・百海郁弥・本多和彦：将来気候における高潮・高波の不確実性の評価，国土技術政策総合研究所資料，No.1248, 51p, 2023.
- 16) 宇都宮好博，宮田正史，高山知司，河合弘泰，平山克也，鈴木善光，君塚政文，福永勇介：シナリオ台風に基づく最大クラス高潮の設定法について，土木学会論文集B2(海岸工学) Vol.73 No.2, pp.I_247-I_252, 2017.
- 16-1) 文部科学省，気象庁気象研究所，東京大学大気海洋研究所，京都大学防災研究所，国立環境研究所，筑波大学，海洋研究開発機構：地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース(d4PDF)，<https://www.miroc-gcm.jp/d4PDF/index.html>
- 16-2) 文部科学省，気象庁：気候予測データセット(DS2022)，<https://diasjp.net/ds2022/>
- 17) 永井紀彦，小川英明：全国港湾海洋波浪観測年報(NOWPHAS 2002)，港湾空港技術研究所資料 No.1069, pp.336, 2004.
- 18) 永井紀彦：全国港湾海洋波浪観測30か年統計(NOWPHAS 1970-1999)，港湾空港技術研究所資料 No.1035, 2002.
- 19) プレストレストコンクリート港湾構造物設計マニュアル，運輸省港湾局，1987.
- 20) 財団法人沿岸技術研究センター：港内長周期波影響評価マニュアル，沿岸技術ライブラリー No.21, pp.付録B-2～付録B-9, 2004.
- 20-1) 一般財団法人沿岸技術研究センター：新しい波浪推算・設計波算定マニュアル～浅海波浪推算と準沖波の導入～，沿岸技術ライブラリー No.60, 93p., 2024.
- 20-2) 平山克也・川口浩二・田中陽二・樋口直人・田所篤博・金子大介・伊藤裕哉・佐々木誠：浅海域で設定する新しい沖波(準沖波)の提案，土木学会論文集B3(海洋開発)，Vol.77, No.2, pp.I_727-I_732, 2021.
- 20-3) 平山克也・森谷拓実・濱野有貴・田中陽二：東北地方沿岸の確率準沖波諸元から逆推定される確率沖波諸元の妥当性に関する検討，土木学会論文集，Vol.79, No.18, 23-18165, 2023.
- 20-4) 森谷拓実・平山克也：準沖波に対する沖波の簡易逆推定手法の見直しと実海域における適用性の検証，土木学会論文集，Vol.79, No.18, 23-18162, 2023.
- 20-5) 平山克也・森谷拓実：実用的な沖波諸元の設定方法に関する基礎的研究，港空研報告，Vol.62, No.3, pp.90-141, 2023.